

2021 年度日本ヘルスコミュニケーション学会最優秀口演賞

北里大学医学部 医学教育研究部門

千葉 宏毅



エンド・オブ・ライフケアに関わる専門職を対象としたコミュニケーション研修前後の 会話変化と患者評価に関する研究

医療者教育では、学習後のパフォーマンスの表出、そしてアウトカムとして患者さんがどう感じたかを捉え、教育内容をブラッシュアップすることが非常に重要です。患者さんが抱く様々な辛さに向き合う場合のコミュニケーション教育では、目的を明確にした構造化された練習が必要です。研修後、受講者は、会話に「反復」を取り入れていることが分かりました。医療職は、アセスメントをするために多くの質問をしがちです。これはとても重要ですが、同時にコミュニケーションの中で相手の辛さをキャッチして伝え返すことによって、患者さんが自分のことを分かってくれたと感じる可能性があります。これは傾聴の重要性を示唆するものだと思います。